

# 保育科

# 保育科教育課程表

2022年度入学者適用

区分	必修科目			授 業 科 目	開 講	必 修	選 択	件 卒 数 単 位 要	学年配当				ナンバリング
	卒	幼	保						1年		2年		
									前	後	前	後	
基礎教育科目	外国語			英 語	1		1		○				MH100111
				保 育 の 英 語	1		1		○				MH120111
				フ ラ ン ス 語 I	1		1		○				MH100121
				フ ラ ン ス 語 II	1		1		○				MH120112
				ポ ル ト ガ ル 語 I	1		1		○				MH100131
				ポ ル ト ガ ル 語 II	1		1		○				MH120131
	スポーツ			中 国 語 I	1		1		○				MH100141
				中 国 語 II	1		1		○				MH120141
	情報処理			ス ポ ー ツ	1		1		○	○			MH100051
				ス ポ ー ツ 健 康 論	1		1		○				MH100161
	特別文化			情 報 処 理 演 習 I	2		2		○				MH100172
				情 報 処 理 演 習 II	2		2		○				MH120152
	一般			日 本 国 憲 法	2		2		○				MH1200182
				異 文 化 研 究	2		2		○				MH100192
			日 本 語 表 現	2		2		○				MH100202	
			教 養 数 学	2		2		○				MH1200212	
			他学科開放指定科目(※2)	6		6		○	(○)	(○)	(○)		
小 計				28	2	26		10単位以上修得すること					

区分	必修科目			授 業 科 目	開 講	必 修	選 択	件 卒 数 単 位 要	学年配当				ナンバリング		
	卒	幼	保						1年		2年				
									前	後	前	後			
専門教育科目	3科目(3単位)以上修得すること			② ② 幼 児 教 育 指 導 法	2		2		○				MH2143122		
				※② ② 子 ども と 健 康 I	2		2		○				MH2121212		
				※① ① 子 ども と 人 間 関 係	1		1				○			MH2212131	
				※① ① 子 ども と 環 境	1		1				○			MH2212141	
				※① ① 子 ども と 言 葉	1		1				○			MH2121251	
				※① ① 子 ども と 表 現	1		1				○			MH2112161	
				② ② 保 育 の 音 楽 I	2		2				○			MH1111132	
				② ② 保 育 の 音 楽 II	2		2				○			MH1212182	
				※② ② 子 ども と 音 楽 表 現	2		2					○		MH2121292	
				※② ② 子 ども と 造 形 表 現 I	2		2				○			MH1111122	
				※② ② 子 ども と 造 形 表 現 II	2		2				○			MH1212172	
				⑦ ※① ① 子 ども と 健 康 II	1		1					○		MH2212121	
				② ② 児 童 文 化	2		2					○		MH2214122	
				② ② 音 楽 劇	2		2					○		MH2214132	
				① ① 食 育	1		1					○		MH2234111	
				① ① 保 育 の 今 日 的 課 題 A	1		1					○	○	MH1213111	
				① ① 保 育 の 今 日 的 課 題 B	1		1					○	○	MH2213121	
				② ※② 私 だ ち の 地 球 に つ い て 考 え る	2		2					○			MH1113132
				② 乳 児 保 育 I	2		2					○			MH1231122
				① 乳 児 保 育 II	1		1					○			MH2132131
				① 子 ども の 健 康 と 安 全	1		1					○			MH1232111
				② 障 害 児 保 育	2		2						○		MH2123132
				② 海 外 の 保 育 と 英 語	2		2						○		MH2263112
				① ① 教 育 実 習 I (事 前 ・ 事 後 指 導)	1	1		1				○			MH1151111
				① 教 育 実 習 II (事 前 ・ 事 後 指 導)	1		1		1				○		MH2153111
				① ① 教 育 実 習 I	1	1		1				○	○		MH1052111
				③ 教 育 実 習 II	3		3						○		MH2254113
				① 保 育 実 習 I A (事 前 ・ 事 後 指 導)	1		1					○			MH1251121
				① 保 育 実 習 I B (事 前 ・ 事 後 指 導)	1		1						○		MH2151131
				① 保 育 実 習 II (事 前 ・ 事 後 指 導)	1		1						○		MH2253131
				② 保 育 実 習 I (保 育 所)	2		2						○		MH2153122
				② 保 育 実 習 I (児 童 福 祉 施 設)	2		2						○		MH1252122
				② 保 育 実 習 II	2		2						○		MH2254122
				② 保 育 基 礎 演 習 I	2	2		2				○			MH1171112
				② 保 育 基 礎 演 習 II	2	2		2					○		MH1272112
② ② 保 育 実 践 演 習 I	2	2		2					○		MH2173112				
② ② 保 育 実 践 演 習 II	2	2		2					○		MH2274112				
② ② 保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	2	2		2					○		MH2214112				
小 計				99	20	79		55							
総 計 単 位 数				127	22	105		65							

## 注 意 事 項

- 外国語のⅡを履修する場合はその科目のⅠの単位を履修していること。  
子どもの造形表現Ⅱを履修する場合はその科目のⅠの単位を履修していること。
- 他学科開放指定科目は、6単位を限度として英語コミュニケーション学科、現代教養学科が指定する授業科目の修得単位を基礎教育科目の卒業要件にできる。
- 保育の今日的課題A、Bは隔年開講とする。

## 1. 各要件共通

○数字は必修 ●印は選択

## 2. 卒業要件

○印を含め65単位以上修得すること。

## 3. 幼2種免要件

上記※3の科目から4単位以上修得すること。

## 4. 保育士資格要件

上記※1の科目のうち2科目以上修得すること。

上記※2の科目から4単位以上修得すること。

保育科DPと科目の対応表

2021入学者教育課程	卒業	HDP1	HDP2	HDP3	HDP4
英語			◎		
保育の英語		○	◎		
フランス語Ⅰ			◎		
フランス語Ⅱ			◎		
ポルトガル語Ⅰ			◎		
ポルトガル語Ⅱ			◎		
中国語Ⅰ			◎		
中国語Ⅱ			◎		
スポーツ			◎		○
スポーツ健康論			◎		○
情報処理演習Ⅰ			◎		
情報処理演習Ⅱ			◎		
日本国憲法			◎		○
異文化研究			◎		
日本語表現	必		◎		
教養数学			◎		
保育原理	必	◎	◎		
教育原理	必	◎	◎		
子ども家庭福祉	選必	◎	◎		
社会福祉		◎	◎		
子ども家庭支援論		◎	◎		
社会的養護Ⅰ		◎	◎		
社会的養護Ⅱ		◎	◎		
保育者論		◎	◎		
教育関係法規		◎	◎		
保育の心理学		◎	◎		
特別支援教育論	選必	◎	◎		
幼児理解の理論と方法		◎	◎		
幼児教育相談		◎	◎		
子ども家庭支援の心理学		◎	◎		
子どもの保健		◎			○
子どもの食と栄養	必	◎			○
保育カリキュラム論		◎		◎	
保育内容総論	必	◎		◎	
保育内容指導演「生活と健康」		◎		◎	
保育内容指導演「生活と人間関係」		◎		◎	
保育内容指導演「生活と環境」		◎		◎	
保育内容指導演「生活と言葉」		◎		◎	
保育内容指導演「生活と表現」		◎		◎	
幼児教育指導演		◎		◎	

2021入学者教育課程	卒業	HDP1	HDP2	HDP3	HDP4
子どもと健康Ⅰ		◎			○
子どもと人間関係		◎			
子どもと環境	選必	◎			
子どもと言葉		◎			
子どもと表現		◎			
保育の音楽Ⅰ		◎			
保育の音楽Ⅱ		◎			
子どもと音楽表現		◎			
子どもと造形表現Ⅰ		◎			
子どもと造形表現Ⅱ		◎			
子どもと健康Ⅱ	選必	◎			○
児童文化		◎	◎		
音楽劇		◎	◎		
食育		◎			◎
保育の今日的課題A		◎			◎
保育の今日的課題B		◎			◎
私たちの地球について考える		◎			◎
乳児保育Ⅰ		◎		◎	
乳児保育Ⅱ		◎		◎	
子どもの健康と安全		◎		◎	
障害児保育		◎	◎		
海外の保育と英語		◎	◎		
教育実習Ⅰ（事前・事後指導）	必	◎	○	◎	
教育実習Ⅱ（事前・事後指導）		◎	○	◎	
教育実習Ⅰ	必	◎	◎	◎	◎
教育実習Ⅱ		◎	◎	◎	◎
保育実習ⅠA（事前・事後指導）		◎	○	◎	
保育実習ⅠB（事前・事後指導）		◎	○	◎	
保育実習Ⅱ（事前・事後指導）		◎	○	◎	
保育実習Ⅰ（保育所）		◎	◎	◎	◎
保育実習Ⅰ（児童福祉施設）		◎	◎	◎	◎
保育実習Ⅱ		◎	◎	◎	◎
保育基礎演習Ⅰ	必	◎	◎	◎	◎
保育基礎演習Ⅱ	必	◎	◎	◎	◎
保育実践演習Ⅰ	必	◎	◎	◎	◎
保育実践演習Ⅱ	必	◎	◎	◎	◎
保育・教職実践演習（幼稚園）	必	◎	◎	◎	◎

HDP1.【知識・技能】保育と保育者の本質について理解する。①

HDP2.【行動力】豊かな人間性を備え、自己実現や社会貢献に向けて主体的に行動する。③

HDP3.【省察力】自らの保育実践を振り返り、改善しようと努力する。②③

HDP4.【協働性】課題解決に向けて、社会の中でさまざまな人と連携、協働する。③

◎：強く関係する

○：関係する

保育科 履修系統図

DP: ①理論的・実践的な問題解決能力を有する者 ②高度で実践的な保育と子育ての専門家 ③国際的な視野で地域社会に貢献できる者 ④国際的・地域的な問題解決能力を有する者 ⑤多様なニーズに対応した高い能力をもつ保育と子育ての専門家 ⑥国際的な視野でグローバル化に対応したリーダーシップを発揮できる者

保育科 (MH)

専攻科 (SH)

↓領域 (1000番台)	水準一 (数字が1000番台)																	
	H0		H1		H2		H3		H4		S1		S2		S3			
	定義	当該領域(系列)を学修するための基礎・総論的位置付けの科目																
領域名	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号	科目名	番号		
0	教養	英語	11	保育の英語	11													
		フランス語 I	12	フランス語 II	12													
		ポルトガル語 I	13	ポルトガル語 II	13													
		中国語 I	14	中国語 II	14													
		スポーツ	15															
		スポーツ健康論	16															
		情報処理演習 I	17	情報処理演習 II	15													
		日本語表現	18															
		教養数学	19															
		日本国憲法	20															
異文化研究	21																	
1	保育の内容・方法			保育内容総論	11			保育の今日的課題A	11	保育・教職実践演習(幼稚園)	11	保育内容総論特演	11					
						保育の今日的課題B	12											
						私たちの地球について考える	13											
						子どもと健康 I	11	保育内容指導法「生活と健康」	14	児童文化	12	幼児体育特演 I	12	幼児体育特演 II	11			
						子どもと健康 II	12											
						子どもと人間関係	13	保育内容指導法「生活と人間関係」	15									
						子どもと環境	14	保育内容指導法「生活と環境」	16					幼児と環境特論	12	環境の科学	13	
						子どもと言葉	15	保育内容指導法「生活と言葉」	17					保育内容特演(言葉)	14	幼児と言葉特論	14	
						子どもと表現	16			音楽劇	13	文学の世界	15					
						子どもと造形表現 I	17	保育内容指導法「生活と表現」	18					幼児造形特演 I	16	幼児造形特演 II	15	
		保育の音楽 I	13					幼児音楽特演 I	17			幼児音楽特演 II	16					
		子どもと音楽表現	19															
2	福祉・心理学・子育て支援			子ども家庭福祉	11	社会福祉	11					障害児福祉特論	11					
				社会的養護 I	12	社会的養護 II	11					子育て支援特演	12					
				子ども家庭支援論	12	子ども家庭支援の心理学	13	幼児教育相談	12									
				保育の心理学	13	障害児保育	13	発達心理学特論	13									
3	子どもの保健と安全・乳児保育			子どもの保健	11	子どもの健康と安全	11	子どもの食と栄養	11	食育	11							
				乳児保育 I	12	乳児保育 II	12											
4	保育学・教職			保育原理	11	保育者論	11	保育カリキュラム論	11			保育者特論	11	乳児保育特論	11			
				教育原理	12			幼児教育指導法	12	保育の理論と実践 I	12	保育の理論と実践 II	12					
5	実習			教育実習 I(事前・事後指導)	11	教育実習 I	11	教育実習 I(保育所)	12	保育実習 II	12	教育実習 II(事前・事後指導)	11	保育特別実習指導	11	保育特別実習	11	
				保育実習 I(A)事前・事後指導	12	保育実習 I(児童福祉施設)	12	保育実習 II(保育)	13									
				保育実習 I(B)事前・事後指導	13													
6	海外の保育							海外の保育と英語	11			多文化共生研究特論	11					
												海外英語研修	12	海外保育研修	11			
												English for Children I	12	English for Children II	13			
7	ゼミ			保育基礎演習 I	11	保育基礎演習 II	11	保育実践演習 I	11	保育実践演習 II	11	専攻科基礎演習 I	11	専攻科基礎演習 II	11			
												保育研究法 I	12	保育研究法 II	12			
												学修総まとめの基礎 I	13	学修総まとめの基礎 II	13	学修総まとめ	11	

## I. 保育科の学び

保育者は未来を生きる子どもたちを育てるといふ、とても大きな社会的使命を担っています。では、保育者になるために、皆さんは何を学ぶことが必要なのでしょうか。

一言で言ってしまえば、それは「皆さんを人間として成長させるための、ありとあらゆること」になります。より良い保育者となるには、単に保育の技術だけ修めればよいということにはなりません。子どもの成長を導き、その可能性を開かせるためには、豊かな知識や感性、技術などを用い、様々な面からアプローチすることが必要です。

したがって、皆さん自身が、人間として豊かに成長し続けること——それこそが、この名古屋短期大学保育科で成し遂げてもらいたい大きな目標です。保育科のカリキュラムはこの目標達成に向かって構成されています。では、具体的にどのようなカリキュラムになっているのでしょうか。

## II. カリキュラムの特色

名古屋短期大学保育科のカリキュラムは、2年間を通して上記の目標を達成しつつ、保育士資格と幼稚園教諭2種免許状を取得することができるように構成されています。カリキュラム内の科目は、大きく「基礎教育科目」と「専門教育科目」に分かれています（保育科教育課程表を参照してください）。

またそれぞれの科目は8つの領域に分類され、皆さんの総合的な成長のための学習を体系的に提供しています。以下、8つの領域について、それぞれ見ていきましょう（履修系統図（カリキュラムツリー）も参照してください）。

### 0. 教養

日々変化している現代社会に対する理解を深めるとともに、そのような社会で必要となる基礎的な事項について学ぶことを目標とした科目です。外国語をはじめ、多彩なジャンルの科目を設定しています。保育の専門的な学修と合わせて、豊かな人間性を形成するためにどれも重要な科目です。上述した「基礎教育科目」がこれに該当します。

### 1. 保育の内容・方法

保育においては、子どもの活動が大きな意味を持っています。子どもの活動は発達之源です。子どもたちのどのような活動を、どのように引き出し、援助していけばよいのでしょうか。「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の保育の五領域とその指導法を中心に学んでいきます。

### 2. 福祉・心理学・子育て支援

保育者は子どもの健全な育成を担う存在です。子どもの心理や発達について学ぶことはも

もちろん、子ども福祉の意義や役割・現代における制度を学んでいきます。子どもが様々な家庭環境に置かれていることを理解し、それぞれの状況に合った支援の方法についても考えていきます。

### 3. 子どもの保健と安全・乳児保育

子どもの安全を守ることは保育者の大きな役割です。乳児期の発達や、子どもの発育に必要な栄養についての知識、そして子どもの心身の健康状態や疾病について学びます。保育現場での事故防止や安全対策、緊急時における対応等についても考えます。

### 4. 保育学・教職

「保育」や「教育」の意義・目的を理解し、それらを支える制度について十分な知識を持っていることは保育者にとって必要なことです。そのような知識に基づいて、子どものよりよい成長のための適切な指導を計画できるように学んでいきます。

### 5. 実習

大学内での講義や演習に加え、保育者になるためには現場での実践を通して学ぶことが大切です。子どもの姿や現場の保育者から豊かな問題意識を吸収するだけでなく、自らの課題についても積極的に探求し、さらなる学習へと繋げていきましょう。

### 6. 海外の保育

グローバル化の波は保育の世界にも押し寄せています。諸外国の文化や保育について学び、また多国籍の子どもが共生する中での保育の方法などについても学びます。「0. 教養」の領域の中の外国語科目や「保育の英語」もこの領域に関連します。また、専攻科ではオーストラリアの保育資格取得を目指します。

### 7. ゼミナール

ゼミナールは特定のテーマについて少人数で研究・報告・討論などを行う形式の授業です。保育科では保育学生および社会人として必要な態度や感性を身につけること、集団における協力意識を高めること、研究を実践する能力を養うことをゼミナールの目的としています。

## Ⅲ. 履修計画のために

保育科のカリキュラムは、保育士資格と幼稚園教諭2種免許状を取得できるように構成されています。資格や免許の取得には所定の科目を履修して単位を修得することが必要になります。授業の履修にあたっては「卒業に必要な単位」「保育士資格取得に必要な単位」

「幼稚園教諭2種免許状取得に必要な単位」に注意することが必要です。

大学での学習に対する評価は絶対評価が基本です。皆さん自身が努力をすれば必ずそれにふさわしい評価が得られます。ただし、評価だけにとられるのではなく、何のために学ぶのかということを常に意識しながら学習活動を行うようにしてください。それは自らを成長させ、将来の進路選択にもつながっていくはずです。

本当の勉強は大学から始まります。大学では、何にどれくらい時間を費やすのかを皆さん自身の意思で決定することができます。常に瑞々しい心で、自らの可能性にチャレンジしましょう。それはきっと皆さんを更に成長させてくれるはずです。

### 【科目ナンバーとは】

科目の学問分類や学ぶ順序、難易度などを表します。科目ナンバーを理解することで、科目どうしの関連や学修の段階を知ることができます。科目ナンバーとは、卒業までの学修カリキュラム全体の中で自分が今どの段階を学んでいるのか、その道しるべとなるものです。

例) 保育内容総論 MH1211112

大学名	学科名	学年	学期	領域	水準	科目番号	単位数
M	H	1	2	1	1	11	2

大学名	M, S	M=名古屋短期大学, S=名古屋短期大学専攻科
学科名	H	H=保育科, 保育専攻
学年	1,2	1=1年, 2=2年
学期	0,1,2	1=前期, 2=後期, 0=前後期にまたがる科目
領域	0,1,2,3,4,5,6,7	0=教養, 1=保育の内容・方法, 2=福祉・心理学・子育て支援, 3=子どもの保健と安全・乳児保育, 4=保育学・教職, 5=実習, 6=海外の保育, 7=ゼミナール
水準	(保育科) H0, H1, H2, H3, H4, H5  (保育専攻) S1, S2, S3, S4  ※科目ナンバーではアルファベット(HおよびS)は省略	H0=短期大学士に相応しい教養を身につける科目 H1=当該領域(系列)を学修するための基礎・総論的位置付けの科目 H2=当該領域(系列)の各論。H1の科目の応用的内容を含む科目 H3=当該領域(系列)の発展的内容の科目 H4=既習科目を複合させて、学修の集大成として取り組むべき科目  S1=短期大学での学修を基礎として、研究を遂行するための基本的な知識及び技術を習得する科目 S2=これまでの学修を土台として、より高度な専門的知見を修得する科目 S3=学士の学位に相応しく、また保育や教育に関する4年間の積み上げ学修の総まとめとして取り組む科目

# 英語コミュニケーション学科





# 2022年度 英語コミュニケーション学科 履修系統図

◎: 必修

■: 選択必修

□: 教職必修

□: 教職選択必修

■: 秘書士必修

A → B: Bの履修に先立って A を履修していなければならない／履修しておくことが望ましい

A ..... B: 学習順序及び科目間の関連性が深いことを示す

A = B: 科目間の連携が深いことを示す

		1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
基礎 教育 科目	①外国語	ME11FLN01 ■ フランス語 I ME11FLN02 ■ スペイン語 I ME11FLN03 ■ 中国語 I ME11FLN04 ■ 韓国語 I	ME12FLN01 ■ フランス語 II ME12FLN02 ■ スペイン語 II ME12FLN03 ■ 中国語 II ME12FLN04 ■ 韓国語 II		
	②パソコン	ME11PCS01 ◎ パソコン演習 I	ME12PCS01 ◎ パソコン演習 II		
	③健康	ME11SPT01 ■ スポーツ I	ME12SPT01 ■ スポーツ II ME12SPT02 ■ スポーツ・健康論		
	④日本語・日本国憲法	ME11JPN01 ◎ 日本語表現 I ME11CON01 ■ 日本国憲法	ME12JPN01 ◎ 日本語表現 II		
	⑤その他	他学科開放科目	(他学科開放科目)	(他学科開放科目)	(他学科開放科目)
専門 教育 科目	A 英語力強化のための演習・実習科目	ME11ENA00 ◎ English in Action I ME11ENS01 ◎ Intensive English I ME11ENW02 ◎ Intensive English II ME11ENR03 ◎ Intensive English III	ME12ENA00 ◎ English in Action II ME12ENS01 ◎ Intensive English IV ME12ENW02 ◎ Intensive English V ME12ENR03 ◎ Intensive English VI	ME21ENL04 ◎ Advanced English II ME21ENS01 ◎ Advanced English IV ME21ENW02 ◎ Advanced English I ME21ENR03 ◎ Advanced English III	ME22ENL04 ◎ Advanced English VI ME22ENS01 ◎ Advanced English VIII ME22ENW02 ◎ Advanced English V ME22ENR03 ◎ Advanced English VII
	⑥選択／選択必修	ME11CMS01 ■ Communication Skills I	ME12CMS01 ■ Communication Skills II	ME21CMS01 ■ Communication Skills III ME21CMS02 ■ Communication Skills IV	ME22CMS01 ■ Communication Skills V ME22CMS02 ■ Communication Skills VI
	⑦⑧海外実習	ME99VSO2 ■ 海外英語実習 II	ME120VS03 ◎ 語学留学実習 ME120VS01 ■ 海外英語実習 I (海外英語実習 II)	(海外英語実習 II)	(海外英語実習 II)
	⑨専門演習			ME23SMW00 ◎ 英語専門演習	ME22SMN01 ◎ 卒業研究
	⑩英語の構造・学習・教育に詳しくなるための科目	ME11LIN01 ■ 外国語教育論	ME12LIN02 ■ 英語学 I	ME21LIN02 ■ 英語学 II ME21LIN03 ■ 英語音声学 I ME21LIN03 ■ 日英語比較 I ME21LIN04 ■ 早期英語教育法	ME22LIN03 ■ 英語音声学 II ME22LIN03 ■ 日英語比較 II ME22LIN04 ■ 早期英語教材研究
	⑪文学に詳しくなるための専門科目			ME21LIT01 ■ アメリカ文学 ME21LIT02 ■ イギリス文学	ME22LIT03 ■ 外国の文学
	⑫世界に詳しくなるための専門科目	ME11WRD00 ◎ 異文化研究 ME11WRD01 ■ 地域研究 I	ME21WRD07 ■ 観光と地理	ME21WRD09 ■ ツーリズム概論 ME21WRD02 ■ 地域研究 II ME21WRD03 ■ 地域研究 III ME21WRD10 ■ 国際関係論 I	ME22WRD04 ■ 地域研究 IV ME22WRD05 ■ 地域研究 V ME22WRD10 ■ 国際関係論 II ME22WRD11 ■ 国際経済論
	⑬コミュニケーション力やキャリア形成を深めるための専門科目	ME11WRD06 ■ 国際社会と女性 ME11CAR01 ■ 秘書概論 ME11CAR04 ■ エアライン・ホスピタリティ I ME99CAR05 ■ インターンシップS ME99CAR06 ■ インターンシップL ME99CAR07 ■ 海外ボランティア・インターンシップS ME99CAR08 ■ 海外ボランティア・インターンシップL	ME12CAR09 ■ ライフデザイン ME12CAR02 ■ 事務管理 ME12CAR04 ■ エアライン・ホスピタリティ II (インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)	ME21WRD07 ■ 女性と労働 ME23CAR03 ■ 秘書実務 (インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)	(インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)
	⑭教員免許取得のための教職課程科目	ME11EDU01 ■ 教職・教育課程論 ME11EDU04 ■ 教育方法論(ICT活用含む) ME11EDU02 ■ 教育心理学 ME11EDU05 ■ 特別支援基礎論 ME11EDU03 ■ 道徳教育の指導法	ME12EDU06 ■ 教育原理 ME12EDU07 ■ 教育行政・制度論 ME12EDU08 ■ 教育相談 ME12EDU09 ■ 英語科教育法	ME23EDU10 ■ 教育実習 ME23EDU11 ■ 教育実習(事前・事後指導)	ME22EDU12 ■ 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 ME22EDU13 ■ 生徒・進路指導論 ME22EDU14 ■ 教職実践演習 ME23EDU10 ■ 教育実習 ME23EDU11 ■ 教育実習(事前・事後指導)

## I. 英語コミュニケーション学科の学び

人々は言語を使って行動します。最も基本的には、ものを考え、それを基に自分の考えを他人に伝えたり、他人が発した考えを受容したりというコミュニケーション活動を行います。そして、人はコミュニケーション活動を通して、文化的、政治的、経済的な種々の社会活動を行っています。近年、そのような活動はインターネットなどのデジタルコミュニケーションの発達で、国の枠を越えた形になってきています。そして社会の動きの変化は昔と比べものにならないほど速くなってきています。英語コミュニケーション学科で学ぶということは外国語である英語に加えて、文化、政治、経済などを日本という枠を越えて学ぶことにほかなりません。これらを踏まえ、本学科では、英語によるコミュニケーション能力を持ち、グローバル化した社会での様々な問題に適切に対応し、活躍していくことのできる人間を育成することを教育目標としています。

年々、多くの日本人が海外に出向き、その数は2019年に初めて2,000万人に達しました。また、日本を訪れる外国人の数は、2014年に1,300万人だったものが2019年には約3,200万人を記録し、今後も増加が見込まれます。異なる文化を持つ人々と接することは、今や一部の人に限られたことではなく、私たち誰もが体験する出来事になっています。そんな国際化の進む現代社会のニーズに対応する多様な授業科目が用意されています。

## II. カリキュラムの特色

### 英語コミュニケーション学科教育課程概要

#### 1. 基礎教育科目

- ① 第2外国語
- ② パソコン
- ③ 健康
- ④ 日本語・日本国憲法
- ⑤ その他

#### 2. 専門教育科目

##### A. 英語力強化のための演習・実習科目

- ⑥ 必修の英語演習科目
- ⑦ 選択/選択必修の英語演習科目
- ⑧ 海外英語実習
- ⑨ 語学留学実習

##### B. 幅広い教養を身につけるための専門科目

- ⑩ 専門演習
- ⑪ 英語の構造・学習・教育に詳しくなるための科目
- ⑫ 文学に詳しくなるための科目
- ⑬ 世界に詳しくなるための科目
- ⑭ コミュニケーション力やキャリア形成を深める科目
- ⑮ 教員免許取得のための教職課程科目

#### 1. 基礎教育科目

世界に通用する「コミュニケーション能力」を育むためには、英語の技能を向上させることに加えて英語以外の外国語の知識や日本語を正しく使う能力も大切です。また、現代社会には欠かすことのできな

いパソコン・スキルを養うことや、女性として健康的な生活を送るために必要な科目履修などを通して、短期大学における専門教育科目を学ぶ上で大切な学習基礎力を高めます。

### ① 第2外国語

フランス語Ⅰ、Ⅱ（1年次選択必修）

スペイン語Ⅰ、Ⅱ（1年次選択必修）

中国語Ⅰ、Ⅱ（1年次選択必修）

韓国語Ⅰ、Ⅱ（1年次選択必修）

英語以外の外国語を学ぶことは、単に「使える言語」の数を増やすことだけではなく、コミュニケーションの幅を広げ、母語や既習言語との比較から生まれる様々な発見にもつながります。選択必修科目ですので、上記4つから1言語を履修します。ⅠとⅡは、同一言語を選択します。

### ② パソコン

パソコン演習Ⅰ、Ⅱ（1年次必修）

パソコン操作技術は、大学生として不可欠な大変重要なスキルです。大学の授業に必要な Microsoft Word を使ったレポート作成や PowerPoint の使い方、メールでの送受信方法やマナーなど、社会人としても役立つ実践的な学習内容です。

### ③ 健康

スポーツⅠ、Ⅱ（1年次選択）

スポーツ・健康論（1年次選択）

女性として健康的な生活を送るために大切なスポーツと健康を学ぶ科目です。高校までの「体育」とは異なり、楽しみながら体を動かすことに重点を置いた「スポーツⅠ、Ⅱ」（ゴルフ・テニス・卓球・エアロビクスなど）と、理論として学ぶ「スポーツ・健康論」があります。

### ④ 日本語・日本国憲法

日本語表現Ⅰ、Ⅱ（1年次必修）

日本国憲法（1年次選択）

大学生活を送る上で必要不可欠な表現だけでなく就職活動に生かせる日本語表現能力も磨く「日本語表現Ⅰ、Ⅱ」や日本国を学ぶ「日本国憲法」は、国際人として活躍するための「コミュニケーション能力」習得に大変重要です。

### ⑤ その他

他学科開放指定科目（1、2年次選択）

自分の興味関心に合わせて保育科と現代教養科の一部の科目（他学科開放指定科目のみ）を履修することが可能です。

## 2. 専門教育科目

### A. 英語力強化のための演習・実習科目

1年次、2年次とも毎日（週5日）「英語」の授業があり、効率よく英語コミュニケーション能力を高

めることができます。また、英語圏で英語漬けの生活を送る海外実習も充実しています。

海外実習を除く全ての英語演習科目は、学期毎に受験する Placement Test の点数によるレベル別クラス（一部進路別クラス）となります。レベルは全部で8つ（4A > 4B > 3A > 3B > 2A > 2B > 1A > 1B）あります。学期毎のレベルアップを目標に英語力強化に励みます。

#### ⑥ 必修の英語演習科目

English in Action I、II（1年次）

Intensive English I、II、III、IV、V、VI（1年次）

Advanced English I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII（2年次）

英語コミュニケーション能力の総合的な向上のために「話す」「書く」「聴く」「読む」の語学の4技能を関連させながら、1年次から2年次へと発展的に、効果的に学習します。1年次のEnglish in Action I、II（週2回）は専任教員が指導に当たり、Intensive English と Advanced English は主に外国人講師が担当し、生きた英語に触れていきます。なお、Intensive English と Advanced English は複数科目がありどれも4技能を総合的に伸ばすための科目ですが、各科目は以下の各技能を重点的に学びます。

#### Intensive English / Advanced English の重点学習技能内訳表

	Speaking	Writing	Listening	Reading
1年(前)	Intensive English I	Intensive English II		Intensive English III
1年(後)	Intensive English IV	Intensive English V		Intensive English VI
2年(前)	Advanced English IV	Advanced English I	Advanced English II	Advanced English III
2年(後)	Advanced English VIII	Advanced English V	Advanced English VI	Advanced English VII

#### ⑦ 選択/選択必修の英語演習科目

Communication Skills I、II（1年次選択）

Communication Skills III、IV（2年次選択必修）

Communication Skills V、VI（2年次選択必修）

⑥に示した必修の英語演習科目に加えて、更なる英語力アップを目指すために多様な科目があり、自分の興味や強化したいスキル別に選択できます。

英文法を再整理するための「基礎英文法クラス」、自分の英語力を公に証明する検定試験準備のための「TOEIC 対策クラス」や「英検対策クラス」、映画を教材にした「Screen English クラス」、映像を活用しながらリスニング力を強化する「English through Pop Culture クラス」、世界の諸問題を英語で学ぶ「Global Issues」などがあります。

#### ⑧ 海外英語実習

海外英語実習 I（1年次選択）

海外英語実習 II（1、2年次選択）

春休み期間中にホームステイしながら海外の大学で4週間の英語研修を受講し、外国文化に直接触れ、集中的な英語力向上と異文化理解を目指す科目が「海外英語実習 I」です。名古屋短期大学専用クラスコースと、他国の学生と机を並べながら学ぶ国際クラスコースがあり、学生はプログラム内容及び研修国を選択できます。アメリカ、イギリス、ニュージーランドにて実施してきた実績があります（※国際状況の変化及び参加希望者の増減などによって実施国は変更されます）。

「海外英語実習 I」参加学生は全員、1年次後期に事前準備クラスを履修し、それぞれの研修先に応じた海外実習の準備を開始します。学生は研修毎に同一旅程で行動しますが、一学生一家庭でのホームステイを4週間経験します。

また、個人で申し込んだ4週間以上の海外英語研修プログラムを、教育内容や取得成績等が適切であると判断された場合に限り2単位を認定する「海外英語実習Ⅱ」もあります。

#### ⑨ 語学留学実習

語学留学実習（本実習参加学生のみ1年次必修）

4か月間の海外留学プログラムで、所定の審査に合格した学生のみが履修できます。

1年次の8月から12月までの4ヶ月間はアメリカの提携大学（フロリダ州立セントラルフロリダ大学、セミノール州立大学、グランドバレー州立大学）で行われる英語クラスを履修し、全科目を修得すること、留学期間中の各種行事に参加することや担当教員が課す全ての課題に合格することに加えて、名短にて行われる事前・事後指導を履修することによって15単位が認定されます。

なお、1年次必修の「日本語表現Ⅱ」「パソコン演習Ⅱ」は、集中講義の形態で帰国後に履修します。

### B. 幅広い教養を身につけるための専門科目

国際社会で活躍するために必要な知識と教養を学ぶことができるのが専門科目です。自由に履修科目を選択できます。大きく分けて次の6つの科目群に分類されています。

#### ⑩ 専門演習

- ⑪ 英語の構造・学習・教育に詳しくなるための科目
- ⑫ 文学に詳しくなるための科目
- ⑬ 世界に詳しくなるための科目
- ⑭ コミュニケーション力やキャリア形成を深める科目
- ⑮ 教員免許取得のための教職課程科目

#### ⑩ 専門演習

英語専門演習（2年次必修）

卒業研究（2年次必修）

「英語専門演習（通称：ゼミ）」は2年次の必修科目で、この「ゼミ」クラスが各学生の「所属クラス」となります。この「ゼミ」は各教員の専門に基づいた内容（例：英語学、異文化研究、国際関係、アメリカ研究等）の授業が行われ、学生は各教員のテーマの中から自分の希望するものを選択し、履修します。この「ゼミ」は通年科目ですので、1年を通して卒業研究や卒業制作に向けての指導を受けます。また、担当教員は各ゼミ学生の卒業後の進路の相談なども担当します。

後期に設定された「卒業研究」は、卒業論文等ゼミ活動の成果をまとめることを目的とした授業です。

#### ⑪ 英語の構造・学習・教育に詳しくなるための科目

英語学Ⅰ（1年次選択）

英語学Ⅱ（2年次選択）

英語音声学Ⅰ、Ⅱ（2年次選択）

日英語比較Ⅰ、Ⅱ（2年次選択）

外国語教育論（1年次選択）

早期英語教育法（2年次選択）

早期英語教材研究（2年次選択）

英語の仕組みを探ることや教える側の視点で英語を捉えることは、より深い英語学習を育み、効率のよい英語学習方法の習得に繋がります。

- ⑫ 文学に詳しくなるための科目
  - アメリカ文学（２年次選択）
  - イギリス文学（２年次選択）
  - 外国の文学（２年次選択）

人々が何を考え、どう生きてきたか、そして今をどう生きているかを深めるのにぴったりなのが、文学を学ぶ事です。作品の映画を視聴するなどして理解を深める授業もあります。

- ⑬ 世界に詳しくなるための科目
  - 異文化研究（１年次必修）
  - 地域研究Ⅰ（１年次選択）
  - 地域研究Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ（２年次選択）
  - 国際関係論Ⅰ、Ⅱ（２年次選択）
  - 国際経済論（２年次選択）
  - 観光と地理（１年次選択）
  - ツーリズム概論（２年次選択）

異文化や国際社会についての理解を深めることを通じて、多様化する現代社会への適応力を高めるための科目です。興味や関心に合わせて選択できるよう、幅広い地域・領域の科目が用意されています。

- ⑭ コミュニケーション力やキャリア形成を深める科目
  - コミュニケーション論（２年次選択）
  - エアライン・ホスピタリティⅠ、Ⅱ（１年次選択）
  - 国際社会と女性（１年次選択）
  - 女性と労働（２年次選択）
  - ライフデザイン（１年次選択）
  - インターンシップS、L（１年次選択）
  - 海外ボランティア・インターンシップS、L（１、２年次選択）
  - 秘書概論（１年次選択）
  - 事務管理（１年次選択）
  - 秘書実務（２年次選択）

本学の学生が共通して持つ女性という視点から、現代日本において女性が雇用社会を生き抜く知恵を身につけるための多様な科目があります。人生設計や就職活動を考える「ライフデザイン」、就業体験を通して社会を学ぶ「インターンシップ」、複雑化するコミュニケーションの世界を学ぶ「コミュニケーション論」、秘書士資格取得のための科目など、卒業後の実社会で役に立つ魅力ある科目がたくさんあります。

- ⑮ 教員免許取得のための教職課程科目
  - １年次 前期 教職・教育課程論、教育心理学、道徳教育の指導法、教育方法論（ICT活用含む）、特別支援基礎論
  - 後期 教育原理、教育行政・制度論、教育相談、英語科教育法
  - ２年次 前期 教育実習 教育実習（事前・事後指導）
  - 後期 特別活動・総合的な学習の時間の指導法、生徒・進路指導論、教職実践演習（中学校）

中学校教諭２種免許状外国語（英語）を取得するためには、英語コミュニケーション学科を卒業するた

めに必要な科目に加えて、上記科目の履修・修得と、合計7日間の介護等体験を行う必要があります。教員免許の取得を希望する学生は、1年前期から教職課程科目の履修を始める必要があります。

### Ⅲ. 履修計画のために

本学の英語コミュニケーション学科は、前記の目的に従い各種の科目が設置されていますが、それぞれの科目の内容を理解し、自らの学習目標のもとに履修計画をたてて履修登録をする必要があります。

また、中学校教諭2種免許状外国語（英語）を取得するものは、「中学校教諭免許状取得」で述べるように教職課程科目を履修しなければなりません。

Academic advisorによる履修支援及び大学生生活相談支援制度

英語コミュニケーション学科にはアカデミック・アドバイザー制度があります。1年生はEnglish in Action I、II、及び語学留学実習の担当者が、2年生は英語専門演習及び卒業研究の担当教員が、学生の履修に関する様々な支援／相談を担当するアカデミック・アドバイザーとなります。アカデミック・アドバイザーは、履修等に関することのみならず、学生生活における諸問題から就職や進学などに関する相談まで学生のサポートにあたります。

#### 【科目ナンバーとは】

科目の学問分類や学ぶ順序、難易度などを表します。科目ナンバーを理解することで、科目どうしの関連や学修の段階を知ることができます。科目ナンバーとは、卒業までの学修カリキュラム全体の中で自分が今どの段階を学んでいるのか、その道しるべとなるものです。

例) 「Intensive English I」 ME11ENS01

大学名	学科名	学年	学期	分類	科目番号
M	E	1	1	ENS	01

大学名	M = 名古屋短期大学
学科名	E = 英語コミュニケーション学科
学 年	1 = 1年、 2 = 2年、 9 = 1・2年
学 期	1 = 前期、 2 = 後期、 3 = 通年、 9 = 前期・後期
分 類	FLN = Foreign Language [第2外国語] PCS = PC Skill [パソコン] SPT = Sports [健康] JPN = Japanese [日本語] CON = Constitution [憲法] ENA = English in Action [必修の英語演習科目] ENL = English / Listening [必修の英語演習科目] ENR = English / Reading [必修の英語演習科目] ENS = English / Speaking [必修の英語演習科目] ENW = English / Writing [必修の英語演習科目] CMS = Communication Skills [選択の英語演習科目] SMN = Seminar [専門演習] LIN = Linguistics [英語の構造・学習・教育に詳しくなるための科目] LIT = Literature [文学に詳しくなるための科目] WRD = World [世界に詳しくなるための科目] CAR = Career [コミュニケーション力やキャリア形成を深める科目] OVS = Overseas study [海外研修] EDU = Education [教員免許取得のための教職科目]



# 現代教養学科





名古屋短期大学 現代教養学科 履修系統図

2022年度入学者適用

基礎 教養科目群 (必修科目)	1年		2年			
	前期	後期	前期	後期		
	MG10L00L1 キャリアデザインⅠ MG10L00S1 教養演習Ⅰ MG11L00S2 日本語表現A MG11L00S3 コンピュータ演習A	MG12L00S2 日本語表現B MG12L00S4 コンピュータ演習B	MG20L00L1 キャリアデザインⅡ MG20L00S1 教養演習Ⅱ MG20L00S5 卒業研究			
専門 教養科目群 (選択科目)	ヒューマンケア	心理	MG11H01L1 コミュニケーションの心理 MG11H01L2 接客の心理	MG12H01L3 色彩の心理	MG21H01L4 心理学 MG22H01L5 人間関係と恋愛の心理	
		人間文化	MG11H02L1 ポピュラーカルチャー論 MG11H02L2 からだを動かす	MG12H02L3 現代の文化	MG21H02L4 日本の文学 MG22H02L5 芸術の世界	
		健康と福祉	MG11H03P1 みんなのスポーツA MG11H03L1 ボランティア論 MG11H03P2 障がい者の理解と支援 MG11H03P3 NPOインターンシップA	MG12H03P1 みんなのスポーツB MG12H03L2 人間と健康 MG12H03P3 NPOインターンシップB	MG21H03L3 福祉スポーツ MG22H03L4 社会福祉概論	
		医療	MG11H04L1 医療実務A MG19H04P1 病院インターンシップS MG19H04P2 病院インターンシップL	MG12H04L1 医療実務B MG12H04L2 カウンセリング入門 (病院インターンシップS) (病院インターンシップL)	MG21H04L3 生活と医療 (病院インターンシップS) (病院インターンシップL)	MG22H04L4 いのちの科学 (病院インターンシップS) (病院インターンシップL)
	ビジネスマネジメント	ビジネス	MG11B05L1 経済学 MG19B05P1 企業インターンシップS MG19B05P2 企業インターンシップL	MG12B05L2 現代の経営 MG12B05L3 マーケティング (企業インターンシップS) (企業インターンシップL)	MG21B05L4 女性と労働 (企業インターンシップS) (企業インターンシップL)	MG22B05L5 企業と会計 (企業インターンシップS) (企業インターンシップL)
		キャリア	MG11B06L1 法学 MG11B06L2 秘書概論 MG10B06S1 簿記A	MG12B06L3 オフィスタディ MG10B06S3 簿記B	MG21B06L4 事務管理 MG20B06S2 秘書実務	
		情報処理	MG11B07L1 コンピュータ・ネットワーク MG11B07S1 Excel演習	MG12B07L2 ITパスポート入門 MG12B07S2 データベース演習 MG12B07S5 ビジネスExcel実践	MG21B07S6 プログラミング演習 MG21B07S3 Excelプログラミング	MG22B07S3 応用Excelプログラミング
		アジア	MG11B08S1 韓国語と韓国文化ⅠA MG11B08S2 中国語と中国文化ⅠA	MG12B08S1 韓国語と韓国文化ⅠB MG12B08S2 中国語と中国文化ⅠB MG12B08L1 アジアの歴史	MG21B08S1 韓国語と韓国文化ⅡA MG21B08S2 中国語と中国文化ⅡA	MG22B08S1 韓国語と韓国文化ⅡB MG22B08S2 中国語と中国文化ⅡB MG22B08L2 韓国社会論
		国際	MG12G09L1 国際経済入門 MG19G09P1 ホテルインターンシップ	(ホテルインターンシップ)	MG21G09L2 国際社会と日本 MG21G09L3 Kカルチャー論 (ホテルインターンシップ)	MG22G09L4 ツーリズムと地理 (ホテルインターンシップ)
		外国語	MG11G10S1 ポルトガル語とブラジル文化ⅠA MG11G10S2 英語と英米文化ⅠA MG11G10S3 英会話ⅠA	MG12G10S1 ポルトガル語とブラジル文化ⅠB MG12G10S2 英語と英米文化ⅠB MG12G10S3 英会話ⅠB	MG21G10S1 ポルトガル語とブラジル文化ⅡA MG21G10S2 英語と英米文化ⅡA MG21G10S3 英会話ⅡA	MG22G10S1 ポルトガル語とブラジル文化ⅡB MG22G10S2 英語と英米文化ⅡB MG22G10S3 英会話ⅡB
	メディア表現	MG11G11S1 身体と表現 MG11G11P1 ダンス	MG12G11L1 映像メディアの世界 MG12G11S4 動画コンテンツ制作 MG12G11S5 CAD演習	MG21G11L2 SNSとコミュニケーション MG21G11S2 ウェブデザイン	MG22G11S3 デジタルデザイン	
	食と環境	MG11G12L1 食生活と健康づくり MG11G12L2 自然と生活	MG12G12L3 自然環境と生き物の世界	MG21G12L4 フードデザイン MG21G12P1 エコライフ実習		
(上記の3つの履修モデルを選択する場合、4領域のうち最低3つの領域が含まれなければならない。そして選択した領域からそれぞれ4単位以上を取得すること) 図中の矢印(→)は、示された順に従って受講することが望ましいことを示す						
マイプラン (上記の12の領域から4つを選択し、それぞれ4単位以上取得すること)						
学外研修	MG19O00P1 国内研修 MG19O00P2 海外研修	(国内研修) (海外研修)	(国内研修) (海外研修)	(国内研修) (海外研修)		
キャリア支援	MG99C00Z1 キャリア支援	MG99C00Z1 キャリア支援	MG99C00Z1 キャリア支援	MG99C00Z1 キャリア支援		
他学科開放指定科目						

## I. 現代教養学科の学び

### 現代教養学科教育のめざすもの

現代教養学科は、「現代を創造的に生き抜く英知」を育てる学科です。

現代社会の急激な変化にも柔軟かつ的確に対応できる力を培うために、現代社会人として求められる学問の基礎を身に付け、社会が直面するさまざまな課題や問題点を解決するための専門的教養を養い、豊かな人間形成をめざすのが現代教養学科です。

現代教養学科で2年間しっかり学んで、幅広い分野にわたる知識や情報を身に付け、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力、問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に目的に向かって着実に努力を続けられる行動力、他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身に付け、それらに基づいてより良い人間関係を築いていけるコミュニケーション力をきちんと修得してください。

## II. カリキュラムの特色

### 1. 現代教養学科の特色

#### A. 豊富な学科科目

現代教養学科の特色は、まずその豊富な学科科目（基礎教養科目、専門教養科目など）にあります。これらの科目を幅広く学ぶことによって、さまざまな角度から人間を捉えていくための、多様な学問分野の基本的な知識や考え方などを学ぶことができ、より広い視野に立って物事を考えていく力が身に付きます。

なお、現代社会にマッチした専門的教養をより明確にするために、また卒業後の進路選択や資格取得を見据えて履修の方向性を明確にするために、「心理」、「人間文化」、「健康と福祉」、「医療」、「ビジネス」、「キャリア」、「情報処理」、「アジア」、「国際」、「外国語」、「メディア表現」、「食と環境」の計12の領域に関する科目を用意しています。これらは大きく変貌しつつある現代社会で力強く生き抜くために身に付けなければならない重要な知識や情報を学ぶためのキーワードでもあります。

また、履修科目を具体的に選択する際の参考として、自分の関心や興味に基づいて自由に専門教養科目を選択できるマイプランの他、皆さんが自らの目標、進路先を見据えて選択できるヒューマンケア、ビジネスマネジメント、グローバルメディアの計4つの履修モデルを用意しています。

#### B. 充実したキャリア関連科目

基礎教養科目の「キャリアデザインⅠ」や「キャリアデザインⅡ」では、皆さんが「働いて生きる人生」そのものを自分で選択し切り拓いていく力を身に付けるために、社会を知り自分を知るために必要な知識や技能を養い、社会と接点を持つ様々な企画や講演会、各種就職活動対策講座を通して、皆さんの「キャリアアップ」をサポートします。

専門教養科目のビジネスマネジメントの履修モデルには、積極的に自分の将来を切り拓くために必要な科目、とりわけ「現代社会において女性が生き生きと働くため」に必要と思われる科目を多く設定しています。これらは、「働くこと」を通して自分を見つめ社会について考える力を養うと同時に、実社会に

出た時に役立つ準備のための実践的な技術を磨くこともできるものです。

なお、専門教養科目では、幅広く知識・情報を得るための講義系科目の他、実践的な技能・技術や資格を取得し学外研修体験を行う実技・資格・研修系科目を設けています。

まず、資格取得や検定受験対策をめざした科目としては、「色彩の心理」、「接客の心理」、「医療実務 A/B」、「簿記 A/B」、「IT パスポート入門」などを開設しています。

また、夏季や春季の長期休暇期間に1～2週間程度、実際に企業やNPO 法人で実務を体験する「企業インターンシップ」、「ホテルインターンシップ」、「病院インターンシップ」や「NPO インターンシップ A/B」の学外研修体験を行う科目も開設しています。なお、「企業インターンシップ」、「病院インターンシップ」では研修期間に応じて1週間型（S）と2週間型（L）があります。

一方、自主研修科目として、皆さんが自ら企画し様々な体験を自由に行う「国内研修」と「海外研修」を開設しています。

これらの幅広いキャリア関連科目を積極的に学び、多くの講座にチャレンジしながら、自分の可能性を自分の力で切り拓いていきましょう。

### C. 自由な科目選択

現代教養学科の特色は、その履修方法にもあります。多様な専門教養科目の中から2年間に何をどのように学んでいくのかは、一人ひとりの問題意識や目標、進路希望によって決めていくことができます。もちろん一定のルールや必修科目（基礎教養科目）はありますが、自由な選択の幅がこれほどある学科は他にあまり例を見ないと思われれます。

真の人間教育とは一つの型にはまったものではなく、それぞれの個性を大切に、それぞれの問題意識に基づいた自主的な学習の積み重ねの上になされることを、履修システムの上でも保証するものです。

### D. 少人数教育

現代教養学科の教育は、一人ひとりの持つ関心を少人数教育の場である「教養演習」（ゼミ）で学問的なレベルにまで育てていきます。

「ゼミ」は1人の教員と10名前後の学生で構成されます。1年次には共通のテーマのもと、他人の話を聞き、調べ、討論し、自分のこれからの生き方を考えます。2年次には各自の関心に沿って卒業研究を準備していく中で、1年次に身に付けた「学び」の方法をさらに磨き、深め、発展させていきます。

こうしてともに学び、また大学祭等のイベント準備もゼミ単位で行うことから、ゼミは教員や友人とのグループ活動を通じた人間形成の場ともなるのです。高校での教育にはなかったゼミという場の中で、新しい自分を見出し、学び、意見交換することの楽しさを知ってください。

### E. 卒業研究

2年次には自分が関心のある分野からゼミを選択し、自分が考えたいテーマについて1年間かけて資料収集及び分析・考察を進め、担当ゼミ教員のもとで卒業研究レポートを完成させます。このレポートは、皆さんにとってこれまでの「学習の総決算」でもあり、学んできたことをいかにまとめるかという総合的な力を試すものになります。

## F. きめ細やかな外国語教育

国際化の時代と言われる現代において、外国語は教養の基礎でもあります。コミュニケーションの手段としてはもちろんのこと、異なった文化や社会を理解し、世界の人々とともに生きていく視点を持つためにも、外国語力は今後ますます欠かせないものになるでしょう。

専門教養科目の中には、英語、ポルトガル語、中国語の他、日本の隣国の韓国の言語と文化を学ぶ科目を設けています。

皆さんが選択した履修モデルに関わらず、外国語科目を履修することを期待しています。

## 2. 現代教養学科のカリキュラム

『現代教養学科教育課程表』を見てください。ここには、現代教養学科の全ての授業科目が単位数や学年配当などとともに掲載しています。表中では、「基礎教養」、「専門教養」、「学外研修」の科目群の他、キャリア支援、他学科開放指定の科目が記載されています。短期大学としては驚くほど多い現代教養学科の学科科目がこれらの科目群に区分されています。

### 基礎教養科目群

この科目群に分類されている科目はどれも現代教養学科の中核となる大切な科目で、必ず履修して単位を取得しなければならない必修科目です。短期大学で学ぶための基礎を身に付け、自ら考え、発表する場を用意し、そこで得たものをまとめる力を養います。また「ゼミ」は教員や友人との学問的・人間的な交流ステーションとなるものです。

「キャリアデザインⅠ」短期インターンシップや企業研究・業界研究など社会と接点を持つ企画や講演会等を通して、「働くこと」や「仕事」について具体的に学びます。また、人生設計も視野に入れながら、まずは社会に出る最初の一步、就職活動への準備をしていきます。

「キャリアデザインⅡ」自分の将来を考える上で参考となる講演やシンポジウムへ参加する他、「現代をどのように生きるべきか」を学びます。

「教養演習Ⅰ」1年次に少人数で行われるゼミナール形式の演習（「ゼミ」）です。大学での学び方、学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んでいきます。

「教養演習Ⅱ」各自が関心を持つ主題のゼミを選び、そのゼミで学んでいきます。なお、1年次、2年次いずれのゼミでも、「自ら学ぶ力」やそのために必要な「学び方」を身に付ける場であり、教員や友人たちとの人間的な交流を図る場であり、かつ実社会に出てからいろいろな価値観を持ち年齢も異なる周りの人々と一緒にしっかり仕事をしていくための準備をする場でもあります。

「日本語表現 A」日本語で話し、書くための技術を身に付けることはお互いを理解するための第一歩です。そのために、基本的な日本語のコミュニケーション能力を身に付けることを目標とします。

「日本語表現 B」社会人として自己アピールをしたり、プレゼンテーションをしたりすることが

できるように、基本的な日本語能力のうえにさらに高度で効果的な情報伝達能力を身に付けることを目標とします。

「コンピュータ演習 A」 情報化社会を生き抜くうえで必要となるコンピュータの知識、Office 系ソフトの操作、インターネットの利用法などについて学びます。

「コンピュータ演習 B」 オンライン化した現代社会で必要とされるマナーやテクニックを実践的に学び、オンラインでの就活に向けて準備を進めます。

「卒業研究」 2年次に1年間かけて行います。自分が興味を持つ事柄について資料を集め、自分の考えを織り込みながらレポートをまとめて提出します。それまで身に付けた「自ら学ぶ力」や「学び方」を総動員して担当のゼミ教員の指導のもとにレポートを作成します。書き上げた瞬間、これまで感じたことのないような充実感に包まれるとともに、真の意味での短期大学の「卒業」を実感できると思います。

## 専門教養科目群

「心理」、「人間文化」、「健康と福祉」、「医療」、「ビジネス」、「キャリア」、「情報処理」、「アジア」、「国際」、「外国語」、「メディア表現」、「食と環境」の計12領域からなる科目群を用意しています。

これらは全て、大きく変貌しつつある現代社会で力強く生き抜くために身に付けなければならない重要な知識や情報を学ぶためのキーワードです。

これらの専門教養科目群には、幅広く知識・情報を得るための講義系科目と、実践的な技能・技術や資格を取得し学外研修体験を行う実技・資格・研修系科目を設定しています。

皆さんは自らが社会でいかに生きていくか、働いていくかを考えて、その目標、進路先を見据えて履修モデルを選択することができます。

まず、自分の関心や興味に基づいて自由に専門教養科目を選択できるマイプランの履修モデルでは、12の領域のうちからあらかじめ選択した4つの領域において、それぞれ4単位以上（計16単位以上）を履修しなければなりません。また、ヒューマンケア、ビジネスマネジメント、グローバルメディアの各履修モデルでは、それぞれを形成している4つの領域のうち最低3つの領域が含まれなければなりません。そして選択した4領域から、それぞれ4単位以上（計16単位以上）を履修しなければなりません。

それでは、ヒューマンケア、ビジネスマネジメント、グローバルメディアの各履修モデルとその領域科目群について以下に説明します。

## ヒューマンケア

人間のこころと身体を理解するための力を身に付けるための履修モデルです。

「心理」、「人間文化」、「健康と福祉」、「医療」の4つの領域からなっています。

主な進路先は、医療事務、介護、福祉、ブライダル、サービス業等が想定されます。

「心理」 組織や集団に属する人間の心理や人間関係について理論的かつ具体的に学び、行動の指針や良い対人関係の取り方などを探る科目を開設しています。

「人間文化」 人間と社会の関係のあり方を考える上で大切な、人間そのものの知性と能力の働きに関する基礎力を身に付けるための科目を開設しています。



- 「健康と福祉」 現代の少子高齢化社会における健康と福祉の問題点について学び、その実践体験を通じて、社会に働きかけのできる人材の育成をめざすための科目を開設しています。
- 「医療」 生活に密着した生命、医療に関する諸問題を解決し、実践できる人材を育成するための科目を開設しています。

#### ビジネスマネジメント

現代ビジネスの世界を知り、仕事力を身に付けるための履修モデルです。

「ビジネス」、「キャリア」、「情報処理」、「アジア」の4つの領域からなっています。

主な進路先は、メーカー、金融、販売、商社、公務員等が想定されます。

- 「ビジネス」 現代の企業のあり方やその経営の仕組みを学ぶとともに、社会に出て働く意義を見つけるために役立つ科目を開設しています。
- 「キャリア」 現代社会で女性が生き生きと働くために役立つ科目や、ライフステージごとの生活のあり方を学ぶ科目を開設しています。
- 「情報処理」 現代の情報化社会でしっかり生き抜くための実践的なコンピュータに関する知識や情報を総合的に学ぶ科目を開設しています。
- 「アジア」 21世紀の世界をリードするであろうアジア全体について学ぶとともに、日本を取り巻く近隣諸国との関係を深めるために必要な言語と文化を学ぶための科目を開設しています。

#### グローバルメディア

世界に通じる自己表現力とコミュニケーション力を身に付けるための履修モデルです。

「国際」、「外国語」、「メディア表現」、「食と環境」の4つの領域からなっています。

主な進路先は、IT系、広告、観光、ホテル、旅行、食品等が想定されます。

- 「国際」 国際的観点から政治・経済の仕組みや実態を学び、また外国の地域文化やそれを支える人々の暮らしについて学ぶ科目を開設しています。
- 「外国語」 国際言語の中心である英語とフランス語について、単にその言語だけでなくその文化についても学べる科目を開設しています。
- 「メディア表現」 現代社会におけるインターネットなどを用いたコミュニケーション力や自己表現力を高めるために学ぶ科目を開設しています。
- 「食と環境」 自然と人間の関係、地球環境についての諸問題を解決するための情報等の他、食生活に関する科目を開設しています。

#### 学外研修科目群

- 「国内研修」「海外研修」 国内の知らない土地で新しい体験をしたり、外国で語学を学びながら異文化の中で生活したりすることを通して、自分自身の生きる力を試みます。積極的に多くの人々と交流しながら、自ら自分の人間的な可能性を切り拓くために必要な貴重な知識や

技能、経験を得ることをサポートする科目です。なお、「国内研修」、「海外研修」それぞれ2単位まで卒業要件単位に含めることができます。

#### その他

「キャリア支援」 資格・検定などを取得してから申請することで単位を認定する形態の授業です。認定対象の時期は、原則として大学などの在学中に取得したものだけとなります。自分の視野や展望を広げるための重要な機会として活用してください。

指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。認定単位数の上限は8単位までとなります。なお、認定された単位は通常の成績評価とは異なり、GPAの算入対象ではありません（指定された資格・検定などは掲示板を参照してください）。

「他学科開放指定科目」 同じ名古屋短期大学の他学科（保育科、英語コミュニケーション学科）が開設している授業科目を受講して単位を6単位まで修得して卒業要件単位に含めることができます。

### Ⅲ. 履修計画のために

現代教養学科のカリキュラムは、学生個人の知的な関心と自主性を最大限に尊重し、なおかつ現代社会をテーマにして、現代を女性が積極的に生きるために必要な教養を基本的に自由に、しかも将来の進路を見据えて集中的に学べるように工夫しています。

あとは、皆さんの意欲次第です。短期大学生活は、2年間という本当に短い期間です。その間にできるだけたくさんの科目を履修して幅広く学んで、これまでと違う、新しくて深みのある積極的に生きる皆さん自身を創りあげていきましょう。

履修モデルごとの履修方法について、次の点に気をつけましょう。

#### 「ヒューマンケア」

履修モデルとして「ヒューマンケア」を選択する場合、あらかじめ選択する4領域に、「心理」、「人間文化」、「健康と福祉」、「医療」のうちの最低3つの領域がふくまなければならない。そして選択した4領域から、それぞれ4単位以上を取得しなければならない。

#### 「ビジネスマネジメント」

履修モデルとして「ビジネスマネジメント」を選択する場合、あらかじめ選択する4領域に、「ビジネス」、「キャリア」、「情報処理」、「アジア」のうちの最低3つの領域がふくまなければならない。そして選択した4領域から、それぞれ4単位以上を取得しなければならない。

#### 「グローバルメディア」

履修モデルとして「グローバルメディア」を選択する場合、あらかじめ選択する4領域に、「国際」、「外国語」、「メディア表現」、「食と環境」のうちの最低3つの領域がふくまなければならない。そして選択した4領域から、それぞれ4単位以上を取得しなければならない。

#### 「マイプラン」

履修モデルとして「マイプラン」を選択する場合、12の領域から4つを選択し、それぞれ4単位以上を取得しなければなりません。

### 【科目ナンバーとは】

科目の学問分類や学ぶ順序、難易度などを表します。科目ナンバーを理解することで、科目どうしの関連や学修の段階を知ることができます。科目ナンバーとは、卒業までの学修カリキュラム全体の中で自分が今どの段階を学んでいるのか、その道しるべとなるものです。

例) コミュニケーションの心理 MG11H01L1

大学名	学科名	学年	学期	大分類	中分類	小分類	科目番号
M	G	1	1	H	01	L	1

大学名	M	M=名古屋短期大学
学科名	G	G=現代教養学科
学年	1, 2, 9	1=1年, 2=2年, 9=1・2年共通
学期	0, 1, 2, 9	0=通年, 1=前期, 2=後期, 9=集中

大分類 (履修モデル)		中分類 (領域)		小分類 (科目形態)		科目番号	
基礎教養科目	L	共通	00	講義 演習 実習/実技 その他	L S P Z	1~9	
専門教養科目	ヒューマンケアコース	H	心理				01
		人間文化	02				
		健康と福祉	03				
		医療	04				
	ビジネスマネジメントコース	B	ビジネス				05
		キャリア	06				
		情報処理	07				
		アジア	08				
	グローバルメディアコース	G	国際				09
		外国語	10				
メディア表現		11					
食と環境		12					
自主研修科目	学外研修	O	共通	00			
その他	キャリア支援	C	共通	00			

# 専攻科保育専攻

## 専攻科保育専攻教育課程表

2021・2022年度入学者適用

学位審査基準の要件	授業科目	単位	学年配当				必修	選択	修了要件単位	ナンバリング
			1年		2年					
			前	後	前	後				
関連科目	文学の世界	2			○		2		SH2111152	
	学ぶことと現代	2			○		2		SH2101132	
	女性とジェンダー	2			○		2		SH2101112	
専攻外科目	基礎科目	環境の科学	2		○		2		SH1212132	
		専攻科基礎演習Ⅰ	2	○			2	2	SH1171112	
		専攻科基礎演習Ⅱ	2		○		2	2	SH1272112	
		海外英語研修	4	○				4		SH1161124
		English for ChildrenⅠ	2			○		2		SH2162122
		English for ChildrenⅡ	2				○	2		SH2262132
小 計		20				4	16	4		
専門科目	保育研究法	保育研究法Ⅰ	2	○			2	2	SH1171122	
		保育研究法Ⅱ	2		○		2	2	SH1272122	
関連科目	保育	保育の理論と実践Ⅰ	2	○			2	2	SH1141122	
		保育の理論と実践Ⅱ	2		○		2	2	SH1242122	
専門科目	特論	障害児福祉特論	2	○			2		SH1121112	
関連科目		教育原理特論	2			○	2		SH2241132	
関連科目		多文化共生研究特論	2			○	2		SH2161112	
専門科目		発達心理学特論	2			○	2		SH2221132	
		保育者特論	2				○	2	SH2241112	
		幼児と環境特論	1			○	1		SH2212121	
	幼児と言葉特論	1			○	1		SH2112141		
専攻外科目	乳児保育特論	2		○		2		SH1242112		
専攻外科目	海外保育研修	6	○	○			6		SH1062116	
専門科目	保育特演	保育内容特演（環境）	2			○	2		SH2211132	
		保育内容特演（言葉）	2			○	2		SH2211142	
		幼児音楽特演Ⅰ	1			○	1		SH2211171	
		幼児音楽特演Ⅱ	1				○	1	SH2212161	
		幼児造形特演Ⅰ	1			○	1		SH2111161	
		幼児造形特演Ⅱ	1				○	1	SH2112151	
		幼児体育特演Ⅰ	1			○	1		SH2111121	
		幼児体育特演Ⅱ	1				○	1	SH2112111	
		関連科目	情報処理特演	2	○			2		SH1101122
		専門科目	保育内容総論特演	2			○	2		SH2111112
専門科目	子育て支援特演	2	○			2		SH1121122		
専門科目	保育特別実習	保育特別実習	6	○	○		6		SH1052116	
		保育特別実習指導	4	○	○		4		SH1051114	
学修総まとめ科目	保育特別研究	学修総まとめの基礎Ⅰ	2	○			2		SH1171132	
		学修総まとめの基礎Ⅱ	2		○		2		SH1272132	
		学修総まとめ	4			○	○	4		SH2073114
小 計		62				26	36	42		
		82				30	52	46		

＜学位(教育学)審査基準の要件＞

- ①認定専攻科で修得した全ての科目【専門科目＋関連科目＋専攻科外科目＋学修総まとめ科目】62単位以上
- ②認定専攻科で修得した単位：専門科目（学修総まとめ科目を除く）＋関連科目40単位以上
- ③認定専攻科で修得した単位：専門科目（学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む）31単位以上
- ④本科及び認定専攻科で修得した単位：【専門科目（学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む）＋関連科目】62単位以上
- ⑤本科及び認定専攻科で修得した単位：専門科目以外〔≥24単位〕
- ⑥本科及び認定専攻科で修得した単位：外国語の単位〔必ず含む〕

保育専攻DPと科目の対応表

区分	授 業 科 目	HSDP1	HSDP2	HSDP3	HSDP4
		知識・技能	行動力	省察力	協働力
基礎科目	文学の世界		○		◎
	学ぶことと現代		○		◎
	女性とジェンダー		○		◎
	環境の科学		○		◎
	専攻科基礎演習Ⅰ	◎	◎	◎	◎
	専攻科基礎演習Ⅱ	◎	◎	◎	◎
	海外英語研修		○		◎
	English for ChildrenⅠ		○		◎
English for ChildrenⅡ		○		◎	
保育研究法	保育研究法Ⅰ	◎	◎		○
	保育研究法Ⅱ	◎	◎		○
保育特論	保育の理論と実践Ⅰ	◎	◎	◎	◎
	保育の理論と実践Ⅱ	◎	◎	◎	◎
	障害児福祉特論	◎		○	○
	教育原理特論	◎		○	
	多文化共生研究特論	◎			○
	発達心理学特論	◎		○	
	保育者特論	◎		○	
	幼児と環境特論	◎		○	
	幼児と言葉特論	◎		○	
	乳児保育特論	◎		○	
	海外保育研修	◎	◎	◎	◎
保育特演	保育内容特演（環境）	◎	○	◎	
	保育内容特演（言葉）	◎	○	◎	
	幼児音楽特演Ⅰ	◎		◎	○
	幼児音楽特演Ⅱ	◎		◎	○
	幼児造形特演Ⅰ	◎	○	◎	
	幼児造形特演Ⅱ	◎	○	◎	
	幼児体育特演Ⅰ	◎		○	◎
	幼児体育特演Ⅱ	◎		○	◎
	情報処理特演	◎	○		○
	保育内容総論特演	◎		◎	○
子育て支援特演	◎		◎	○	
保育特別実習	保育特別実習	◎	◎	◎	◎
	保育特別実習指導	◎	◎	◎	◎
保育特別研究	学修総まとめの基礎Ⅰ	◎	◎	◎	
	学修総まとめの基礎Ⅱ	◎	◎	◎	
	学修総まとめ	◎	◎	◎	

保育専攻のディプロマ・ポリシー

専攻科保育専攻は、保育に関する一層の専門的力量を養い、時代の要請に応えられる保育者の養成並びに幼児教育の有資格者に対するリカレント教育を行うことを教育目的としている。この目的を踏まえて編成された教育課程を通じて所定の単位を取得し、以下に示す「知識・技術」、「行動力」、「省察力」、「協働力」を身につけた者に修了を認定する。さらに、所定の単位を取得し、大学改革支援・学位授与機構の審査を経ることで学士(教育学)の学位が授与される。

HSDP1.〔知識・技能〕教育・保育・福祉・子育て支援の本質について、保育実践に基づく知識と技能を有している。

HSDP2.〔行動力〕自己を客観的に評価し、課題解決に向けて前向きな態度で行動することができる。

HSDP3.〔省察力〕自分や自分たちの保育実践を俯瞰的に見つけ、省察・改善に努めることができる。

HSDP4.〔協働性〕グローバルな視野を持ち、社会的ニーズを積極的にとらえながら、さまざまな分野・立場の人と連携協働して社会に貢献することができる。

◎:強く関係する  
○:関係する

## I. 保育専攻の学び

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構特例適用認定専攻科として、保育者養成の今日的課題である保育サービスの多様化と高度化に対応し、学士(教育学)の学位及び幼稚園教諭1種免許状・オーストラリア保育士資格(Certificate III in Children's)の取得ができるよう配慮しつつ、時代の要請に応えるカリキュラムとして、次のような特色を持たせています。

## II. カリキュラムの特色

### ① 自律的研究心の育成

時代の変化に対応して、保育者は不断に学習していく資質が求められています。そして自らの努力で、主体的に保育者としての力量を開発していくことが望まれます。本学のカリキュラムは、こうした1人ひとりの主体的な学習や研究を援助しうるよう構造化がはかられています。少人数教育や演習科目の比重を高め、「保育研究法Ⅰ、Ⅱ」をはじめ「保育特別実習」「学修総まとめ」などの科目を有機的に関連づけて配置したことからもそのことは具体化されています。

### ② 理論と実践の統一

「保育学」は、極めて実践的な学問であり、保育現場で実際に行われている様々な実践から多くのことを学ばなければなりません。その意味で、ほぼ1年間を通して展開される「保育特別実習」は本学専攻科固有の特色ある授業科目といえます。さらに「保育研究法Ⅰ、Ⅱ」や専攻科のそれぞれの授業科目において、学生が実習で得た様々な経験を対象化して、それを多面的に検討するなかで保育の学習はさらに深まっていきます。加えて「相談室」の諸活動に関わることで理論を実践に結びつける経験を積むことができます。

### ③ 学習の深化と総合化の保障

「保育内容特演Ⅰ、Ⅱ」では保育の個々の課題について問題別、分野別により深く学ぶことが保障されています。「学修総まとめ」は、学生の問題意識、関心に則して、専攻科での学習を総合化することが課題とされ、担当教員による個別的な指導を系統的に受けることができます。

### ④ 保育分野における今日的課題への対応

「子育て支援特演」、「保育の理論と実践Ⅰ、Ⅱ」や「発達心理学特論」などの保育の今日的課題に応える科目を開講しています。これは、保育や子ども達を取り巻く社会的環境が大きく変わろうとしている現在の保育情勢にいち早く対応し、将来の保育に対する認識を深めるためのものです。

### ⑤ 学士(教育学)と幼稚園教諭1種免許状・オーストラリア保育士資格の取得

専攻科のカリキュラムでは、1年次に集中的に実習・研修を配置し、2年次には「学修総まとめ」への専念と、学位授与機構から学士(教育学)の学位授与を得るために必要な授業科目について、履修が可能となるように授業科目の学年配当に十分な配慮がされています。また、オーストラリアにおける留学タイプにおいてはオーストラリアの保育士免許(Certificate III in Children's)の取得もでき国際的な保育士の養成を目指しています。

# 専攻科英語専攻





# 2022年度 専攻科英語専攻 履修系統図

◎ : 必修

A → B: Bの履修に先立って A を履修していなければならない / 履修しておくことが望ましい

A ..... B: 学習順序及び科目間の関連性が深いことを示す

		1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
英語専門科目	文学		SE12LIT01 アメリカ文学特論 SE12LIT02 イギリス文学特論		
	英語	SE13ENR01 ◎Advanced Reading I SE13ENW01 ◎Writing & Presentation I SE11ENA01 ◎Advanced English Practicum I	SE12ENA02 ◎Advanced English Practicum II	SE23ENR02 ◎Advanced Reading II SE23ENW02 ◎Writing & Presentation II SE21ENA03 ◎Advanced English Practicum III	SE22ENA04 ◎Advanced English Practicum IV
	英語総合	SE13SMN00 ◎英語研究法 SE13SMN01 ◎英語特別研究 I		SE23SMN02 ◎英語特別研究 II	
	海外研修	SE230VS01 英語特別実習 SE990VS02 海外英語研修	(英語特別実習) (海外英語研修)	(英語特別実習) (海外英語研修)	(英語特別実習) (海外英語研修)
	言語学	SE11LIN02 英語学特論 SE13LIN04 日英対照言語学	SE12LIN03 英語音声学特論 SE12LIN05 語用論と外国語学習		
	国際関係	SE11WRD01 国際ボランティア論 SE11WRD04 地域研究特論 I SE11WRD05 地域研究特論 II	SE12WRD02 NGO・NPO論 SE12WRD03 ジェンダー研究特論	SE23WRD09 国際関係特論 SE21WRD06 地域研究特論 III SE21WRD07 地域研究特論 IV SE21WRD08 地域研究特論 V	
英語関連科目	教育	SE11EDU01 初等英語教育特論			SE22EDU02 初等英語教材研究特論
	日本	SE11JPN01 日本文学特論 SE11JPN02 日本史特論			
	キャリア形成	SE99CAR01 インターンシップS SE99CAR02 インターンシップL SE99CAR03 海外ボランティア・インターンシップS SE99CAR04 海外ボランティア・インターンシップL	(インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)	(インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)	(インターンシップS) (インターンシップL) (海外ボランティア・インターンシップS) (海外ボランティア・インターンシップL)

## I. 英語専攻の学び

国際化する社会と学生のニーズに応え、高い実践的な英語力を養成し、英語という言語と英語圏の文化に関わる学修を深め、より専門的な領域で活躍できる人間を育成することを教育目的としています。このために英語力養成と同時に、専門分野（英語学、英米文学）の中から興味を持てる分野を自分で選び、学修が深められるよう、以下のような考えに基づいてカリキュラムを設定しています。

## II. カリキュラムの特色

### 1. 高い英語力の養成

英語を使って社会で活躍するためには、高い英語力を身に付ける必要があります。本専攻科では、それを可能にするため、総合的に英語が学べるよう「Advanced Reading I, II」「Writing and Presentation I, II」「Advanced English Practicum I-IV」を必修としています。英語力に磨きをかけるために、これらの科目は全て少人数開講で、英語ネイティブスピーカーを中心とした高度な英語力を有する教員が担当しています。また、英語圏における4週間以上の語学研修を奨励しており、所定の申請により「海外英語研修」の単位を認定します。

### 2. 英語専攻としての「専門的」科目の設定

専攻科においては、短大での学修を基盤とした専門的な領域における学修が求められます。「英語学特論」「英語音声学特論」などの英語学の分野、および「アメリカ文学特論」「イギリス文学特論」などの英米文学の分野を学び、専門知識の獲得と探求の成果としての「論文」を仕上げます。専門領域への各学生の興味・関心に対応し、少人数のクラスでの指導を行います。

### 3. 国際的な理解を深める保障

英語力だけでなく、国外へ視野を広げ国際理解を深めるために、「国際関係特論」「地域研究特論 II-V」などが用意されていますので、自分が中心的に学習する分野や興味に合わせて履修して下さい。また世界への理解を深めるためには、日本についての知識を深めることが肝心です。それを支援する科目として「地域研究特論 I（日本）」「日本史特論」などがあります。

### 4. 主体的研究心の育成と個別指導体制の保障

将来の目標に即した学修を実現するには、自ら学修テーマを決め主体的に学修を進めていく姿勢が求められます。「英語研究法」や「英語特別研究 I, II」及び海外で行う「英語特別実習」などを組織的に配置し、主体的な学修を支援するカリキュラムと指導体制を整えています。また、1年次から科目等の履修及び専門分野の学修などで、担当教員による指導を系統的に受けることが出来ます。

### 5. 教員免許状取得について

専攻科英語専攻に教職課程は設置されていないため、いかなる教員免許状も取得できません。ただし、名古屋短期大学英語コミュニケーション学科の科目等履修生となり定められた科目を履修することで、中学校教諭二種免許状（英語）を取得できる場合があります。詳しくは、教職課程担当教員に相談して下さい。